

①がん医療の提供

<p>目指す姿</p>	<p>○がん患者が、県内の医療機関で、より質の高いがん医療を受けることができる。</p> <p>○手術療法・放射線療法・化学療法のさらなる充実とそれを実践できる効果的なチーム医療体制の整備が進んでいる。</p>
<p>開催日</p>	<p>平成29年7月13日（木）、10月5日（木）、平成30年2月21日（水）</p>
<p>平成29年度 取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期奈良県がん対策推進計画策定事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ならのがんに関する患者意識調査の実施。 →「ならのがんに関する患者意識調査 報告書」 2. がん診療連携拠点病院機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院5か所、地域がん診療病院1か所の人件費や取組に対する補助。 →従来からの拠点病院5か所と、今年4月1日より国の地域がん診療病院として指定された南奈良総合医療センターを加えた、計6か所に対する補助を実施。 ・実地調査の実施：拠点病院等の指定要件や取組内容を確認。 →拠点病院の指定要件の充足状況の確認や好事例の把握のため、6月～7月に実地調査を実施。 →<u>国保中央病院の指定更新に伴う実地調査を実施（1月18日）</u> 3. がん患者に対する口腔ケア対策支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携登録歯科医の講習会の実施 ・県内がん診療病院への歯科医、歯科衛生士の派遣 →<u>奈良県歯科医師会へ委託実施（P2）</u> 4. がん診療連携協議会の取組について <ol style="list-style-type: none"> ①がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・支援病院間の、化学療法に関するカンファレンス（Web会議）の定期開催 ②がん化学療法チーム医療研修会の継続開催（医大） ③放射線療法分科会の継続と放射線治療水準向上への取組（体制整備への協力等）
<p>平成30年度 計画（案）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>新</u> ならのがん医療見える化推進事業 2. <u>がん診療連携拠点病院機能強化事業</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>拠点病院5か所、地域がん診療病院1か所の人件費や取組に対する補助。</u> ・<u>実地調査の実施：拠点病院等の指定要件や取組内容を確認。</u> 3. <u>がん患者に対する口腔ケア対策支援事業</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>がん診療連携登録歯科医の講習会の実施</u> ・<u>がん診療連携拠点病院等での研修会の実施</u> ・<u>県民向け講演会の実施</u> 4. がん診療連携協議会の取組について <ol style="list-style-type: none"> ①がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・支援病院間の、化学療法に関するカンファレンス（Web会議）の定期開催 ②がん化学療法チーム医療研修会の継続開催（医大） ③放射線療法分科会の継続と放射線治療水準向上への取組（体制整備への協力等）

平成 29 年度奈良県がん患者に対する口腔ケア対策支援事業報告書

①がん患者の口腔管理に関わる人材育成

- ・がん診療連携登録歯科医育成のための講習会開催

平成 28 年度までの奈良県内のがん診療連携登録歯科医師数は平成 29 年 3 月末現在 92 名と会員数の約 13%であり、目標としていた 50%には程遠いのが実情である。そこで、登録のために必須である全国共通がん医科歯科連携講習会（DVD 講習）を実施し、多数の歯科医師の受講を実現させ、登録歯科医師を増加させる。

日 時：平成 30 年 3 月 25 日（日）午前 9 時～

場 所：奈良県歯科医師会館

②県内のがん診療病院へ歯科医師、歯科衛生士の派遣

- ・がん患者への口腔ケア、口腔管理の実施

県内の診療科としての歯科および歯科口腔外科のないがん診療病院に歯科医師、歯科衛生士を派遣し、周術期および化学療法・放射線治療時、緩和医療の各ステージでのがん患者に対する口腔ケア、口腔管理を実施することにより、医療従事者の口腔衛生に対する意識を高めることを目的とし、同時にがん患者の QOL 向上を進める。

平成 29 年度は、奈良県総合医療センターを予定しております。

その理由として、平成 30 年の新病院開設に当たり、歯科口腔外科が開設されるため、周術期等の口腔ケアの効果を実際に病院職員、患者及び県民にアピールする、またない機会になると思われま

奈良県総合医療センターで実施中 [実績 (H30.2 現在) : 5 日間、6 人]

- ・事業評価のため、口腔ケアを実施したがん患者に意識調査を実施

上記で実施したがん診療病院のがん患者を対象に、口腔ケアの効果について事後のアンケート調査を実施し、今後の医科歯科連携における問題点を抽出し、より良い連携ができるような仕組みづくりに繋げる。

- ・医療関係者への周術期の口腔機能管理の勉強会、啓発

奈良県内の、歯科医師、歯科衛生士、医師、看護師および地域連携に携わる病院関係者等を対象とし、この分野での第一人者である講師を招いて研修会を開催する。

また、これとは別に個々の病院の職員を対象とした歯科医師および歯科衛生士による勉強会を開催する。

日 時：平成 29 年 8 月 20 日（日）午前 10 時～12 時 30 分 ←実施済み

場 所：奈良県歯科医師会館

講 師：静岡県静岡がんセンター歯科口腔外科部長 百合草 健圭志先生

演 題：『がん診療医科歯科連携』と課題

参加者数：62名

日 時：平成 30 年 3 月 25 日（日）午後 2 時 30 分～

場 所：奈良県歯科医師会館

講 師：奈良県立医科歯科大学口腔外科学講座講師 柳生 隆裕先生他 4 名

演 題：『奈良県立医科大学でのがん治療患者における口腔機能管理の現状』他 4 題

以上により、県下のがん患者に対する医科歯科の連携をさらに強化することを目的とする。

②緩和ケア

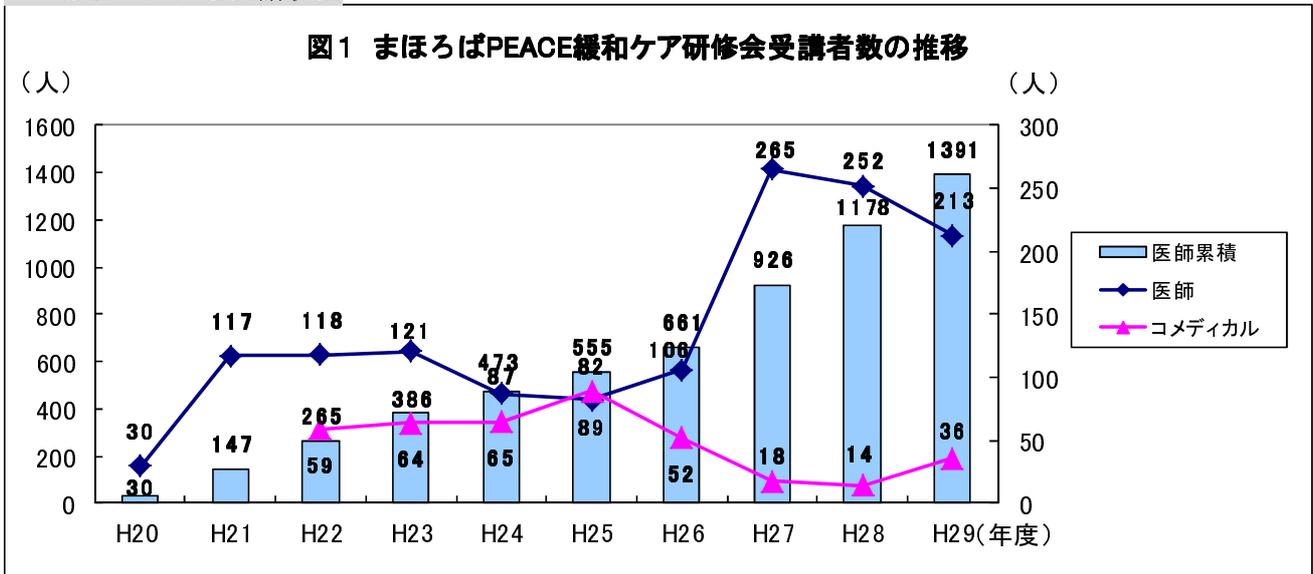
<p>目指す姿</p>	<p>○全てのがん患者とその家族が、居住する地域にかかわらず。必要な時に質の担保された切れ目のない緩和ケアを受けることができる。</p> <p>○患者やその家族ががんと診断された時から緩和ケアを受けることのできる体制の整備が進んでいる。</p>
<p>開催日</p>	<p>平成29年7月13日(木)、10月5日(木)、平成30年2月21日(水)</p>
<p>平成29年度 取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期奈良県がん対策推進計画策定事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ならのがんに関する患者意識調査の実施。 2. 地域連携・緩和ケア普及推進事業 <ol style="list-style-type: none"> ①緩和ケア研修会の実施促進 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>拠点病院の単位型緩和ケア研修会のとりまとめ (P4)</u> ・緩和ケア研修会を奈良県がん診療連携支援病院(2病院)に委託し実施 ・緩和ケア研修の開催予定、研修会修了者名簿を「がんネットなら」で掲載 ②地域の診療所を対象としたがんの在宅緩和ケア研修会の実施 (地域連携・再掲) 3. がん診療連携協議会での取組(緩和ケア分科会で取組実施) <ol style="list-style-type: none"> ①単位型緩和ケア研修会の実施 ②がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会(病診連携)の開催 ③緩和ケア普及啓発(県民公開講座等)の実施 ④拠点病院の緩和ケアチーム研修会の実施(医大)
<p>平成30年度 計画(案)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域連携・緩和ケア普及推進事業 <ol style="list-style-type: none"> ①緩和ケア研修会の実施促進 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>拠点病院の緩和ケア研修会のとりまとめ</u> ・<u>緩和ケア研修会を奈良県がん診療連携支援病院(2病院)に委託し実施</u> ・<u>緩和ケア研修の開催予定、研修会修了者名簿を「がんネットなら」で掲載</u> →来年度より、緩和ケア研修会でe-learning導入予定。 3月中に、<u>がん診療連携協議会緩和ケア分科会と実施について検討する予定。</u> ②地域の診療所を対象としたがんの在宅緩和ケア研修会の実施 (地域連携・再掲) 2. がん診療連携協議会での取組(緩和ケア分科会で取組実施) <ol style="list-style-type: none"> ①緩和ケア研修会の実施 ②がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会(病診連携)の開催 ③緩和ケア普及啓発(県民公開講座等)の実施 ④拠点病院の緩和ケアチーム研修会の実施(医大) ⑤がん医療に携わる医療者のためのコミュニケーション技術研修会の実施を検討中

◆緩和ケア研修会の取組について

1. 緩和ケア研修実施体制の見直し

- ①平成 27 年度より、奈良県がん診療連携支援病院（3 病院）へ緩和ケア研修会を委託実施。
- ②平成 28 年度より、実施方法を一般型から単位型へ変更。
奈良県がん診療連携支援病院（3 病院）へ緩和ケア研修会を委託実施。
- ③平成 29 年度より、奈良県がん診療連携支援病院（2 病院）へ緩和ケア研修会を委託実施。

2. 緩和ケア研修受講状況



3. 緩和ケア研修修了状況（医師）

（表1）緩和ケア研修修了状況について（現況報告書より）

	奈良県立医科大学附属病院	奈良県総合医療センター	天理よろづ相談所病院	近畿大学医学部奈良病院	市立奈良病院	合計
対象者(人)	248	85	118	142	71	664
修了者(人)	235	77	108	123	66	609
修了者割合(%)	94.8%	90.6%	91.5%	86.6%	93.0%	91.7%

（H29.9.1現在）

4. 平成 30 年度以降の緩和ケア研修会について

・「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」（平成 29 年 12 月 1 日付け健発 1201 第 2 号厚生労働省健康局長通知）に基づき、平成 30 年 4 月 1 日より適用。

＜主な変更点＞

○緩和ケア研修会は、「e-learning」と「集合研修」で構成され、双方の修了をもって、緩和ケア研修会の修了とする。

○対象者；

- ・がん等の診療に携わる全ての医師・歯科医師を対象とする。また、これらの医師・歯科医師と協働し、緩和ケアに従事するその他の医療従事者も、参加することが望ましい。
- ・特にがん診療連携拠点病院、地域がん診療病院においては、自施設のがん等の診療に携わる全ての医師・歯科医師（当該施設の病院長等の幹部を含む。）が、緩和ケア研修会を受講すべきである。
- ・また、がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院が連携する在宅療養支援診療所・病院及び緩和ケア病棟を有する病院の全ての医師・歯科医師が緩和ケア研修会を受講することが望ましい。

③ 地域連携

<p>目指す姿</p>	<p>○がん患者とその家族が、地域での生活を維持しながら、診断、治療、さらに在宅、看取りまで切れ目のない地域連携による質の高いがん医療を受けることができる。</p> <p>○がん診療に関する地域連携体制の整備が進んでいる。</p>
<p>開催日</p>	<p>平成29年7月13日(木)、10月5日(木)、平成30年2月21日(水)</p>
<p>平成29年度 取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期奈良県がん対策推進計画策定事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ならのがんに関する患者意識調査の実施。 2. 地域連携・緩和ケア普及推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域の診療所を対象としたがんの在宅緩和ケア研修会の実施</u>県医師会と連携して実施。(P6) 3. 県の在宅医療、包括ケアの取組 4. がん診療連携協議会の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・がんパスの見直しや活用 ・地域連携分科会の開催 ・患者情報共有用紙の見直し
<p>平成30年度 計画(案)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>地域連携・緩和ケア普及推進事業</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域の診療所を対象としたがんの在宅緩和ケア研修会の実施</u>県医師会と連携して実施 2. 県の在宅医療、包括ケアの取組 3. がん診療連携協議会での取組(地域連携分科会で取組実施) <ul style="list-style-type: none"> ・がんパスの見直しや活用 ・地域連携分科会の開催 ・患者情報共有用紙の見直し

■がんの在宅緩和ケア研修会

- 目的
 - ・ がん患者が、病院から在宅へスムーズに移行し、在宅で安心した療養生活を継続していくためには、地域の受け皿となる在宅医等を確保するなど、在宅緩和ケアの充実が求められている。
 - ・ 県のがん患者の在宅死亡の割合は、在宅医の積極的な取組等により全国と比較すると割合が高くなっているが、県内の在宅医、中でもがん診療が可能な在宅医はまだまだ少ない。
 - ・ がん患者の増加に伴い、緩和ケアを含めたがん在宅療養へのニーズの増加が予想される。
 - ・ そこで、奈良県医師会の「在宅医療の会」と共催し、診療所医師等を対象にがん診療における緩和ケアの最新情報や、実際にがんの在宅診療をしている医師・訪問看護師から具体的な事例を学ぶ機会として、在宅緩和ケア研修会を実施する。

●対象者 県内診療所医師、訪問看護師、奈良県がん対策推進協議会がん医療部会委員 等

●内 容

日 時・場 所	内 容 ・ 講 師	参加者
平成30年3月4日(日) 10:30~12:30 奈良県医師会館3階大ホール	講演 (10:35~11:20) 「緩和ケアの現状とこれからのについて」 奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター長 四宮敏章氏 事例発表(11:20~12:00) 「がん患者の在宅診療について」 菊川内科医院 院長 菊川政次氏 「がん患者の在宅療養における医師と訪問看護師の連携について」 桜井市訪問看護ステーションさくら 管理者 下出和子氏 質疑応答(12:00~12:30)	57名 (内訳) 医師:32名 訪問看護師 等:20名

●概 要

- ・ 昨年に引き続き、奈良県医師会「在宅医療の会」との共催実施し、多くの医師・訪問看護師が参加された。
- ・ 講演では、緩和ケアの基本的な考え方や拠点病院等の病院の体制、病院・診療所との連携方法や事例等をご講演いただいた。
- ・ 事例発表では、医師・訪問看護師が共に支援した事例について、医師・看護師のそれぞれの立場から具体的な連携等についての報告があった。
- ・ 参加者アンケートでは、今後の研修会への希望するテーマとして、「痛みのコントロールについて」、「グリーフケアについて」、「医療・介護等の連携ツールの案内」、「ワークショップ形式の研修」などの意見があり、次年度の企画に活かしていきたい。

